令和8年度現場ニーズ一覧表

概要資料No	分類	事務所名	現場ニーズの名称	現場ニーズの概要
1	新工法・建設材料	霞ヶ浦河川事務所	表土の再利用に向けた根茎除去	霞ヶ浦浚渫土埋立地では、表土にヨシ等の根茎が多く混入しているため、工事で発生した表土の再利用が困難となっている。除草やヨシ焼、除草剤散布等による対策を実施しているが根茎の枯死や生育抑制対策が不十分であるため、表土の根茎等を除去または、粉砕し中詰土として再利用可能とする技術を求める。
2	点検・維持管理	京浜河川事務所	小型船舶による簡易的な浚渫	多摩川下流部では、堆砂により河川管理船の安全な運航や緊急船着場の利用に支障が生じている。従来の浚渫工事は時間を要することから、河川管理船に後付けで着脱可能な浚渫装置により、必要なタイミングで必要箇所の堆砂を除去できる技術を求める。
3	点検・維持管理	京浜河川事務所	AI画像認識技術を用いた水門等遠隔操作時の安全確認	樋門・樋管・水門等の遠隔操作において、現地目視確認では、操作時に操作員を現地に派遣する必要があり、操作員不足となった場合や急激な水位上昇が発生した場合に操作が行えない可能性がある。そこで、施設監視カメラを用いた遠隔操作を行う必要があるが、映像による確認では同時に複数台のカメラを監視しながらの安全確認となり、見落としが発生する恐れや急な変状に対応できない恐れがあるため、施設監視カメラによる安全確認を補助する目的としてAI画像認識技術を用いて操作範囲内の人、車両、船舶及び支障物を自動検知し、安全確認を支援する技術を求める。
4	点検・維持管理	日光砂防事務所	魚道における効率的な堆積土砂撤去技術	日光砂防事務所管内の大谷川や稲荷川の魚道内に土砂等が堆積した際、水替えを行ったうえで、小型バックホウや人力により既設構造物を損傷与えないよう配慮しながら慎重に撤去を行っている。このため作業に多くの労力と時間を要していることから、省人化・省力化・遠隔化を図りながら効率的に水替え作業および土砂等を撤去できる技術を求める。
5	点検・維持管理	相模川水系広域ダム管理事務所	自動ダム湖法面点検技術	宮ヶ瀬ダムでは、広大なダム湖及び周辺施設の巡視・点検に多くの時間と労力を要している。また、災害時にはダム湖周辺施設やダム湖法面の点検が必要となるが、点検員の人員確保が困難となることから、通常時及び災害時の巡視・点検を自立航行UAV自動機械等を用いてダム湖内の状況を映像等で記録するとともに、法面崩壊等の変化を検知できる技術を求める。
6	点検・維持管理	宇都宮国道事務所	自立歩行型のフィジカルAIロボットによる道路維持管理支援技術	宇都宮国道事務所が管理する歩道部、法面、階段部、橋梁等の車両によるアクセスが困難な箇所では、作業員の徒歩による巡回・点検が主体となっている。このため、段差や階段等を移動できる自立歩行型フィジカルAIロボットにより、巡回・点検、交通規制支援、資機材運搬・設置、軽微な清掃等を実施し、映像や計測データを取得・伝送できる技術を求める。
7	点検・維持管理	国営昭和記念公園事務所	ロボットによる園内巡視等の自動化、省力化と危険作業の回避を行う技術	明治記念大磯邸園では、園内における通常時および災害時の建物・施設の異状確認を警備員による巡視・点検に依存しており、確認に時間を要するほか、夜間作業の危険性や警備員の担い手不足・高齢化が課題となっている。このため、自立歩行可能なフィジカルAIを活用したロボットによる効率的かつ安全な巡視・点検を支援する技術を求める。

現場ニーズの概要書については、関東地方整備局のホームページをご確認ください（https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000107.html）